

資料 4 作業の一般的特徴

利用者の作業の一般的特徴（検査得点も並記）

No	1.2・3.4	作業の一般的な特徴
W1	16 9 91	動作緩慢、80%の作業量、作業理解はよい。幻聴で作業に集中できないことが時々。
W2	15 8 104	単純工程の作業は伸びるが、2工程以上になると困惑し習熟まで時間がかかる
W3	15 0 84	「こだわり」があるため作業が丁寧。スピードはあまり伸びない。
W4	13 2 64	単純作業なら、注意を持続して作業はできる。向上への自発性は期待薄。
W5	13 3 88	作業は安心して任せられる。量は職員の60-80%くらい。
W6	13 4 81	「こうあらねば」という堅さがある。簡易作業は問題ない。他人を気にし調子を崩す。
W7	13 7 108	理解力は問題ない。緊張感に耐えられず力をセーブする感じ。負けそうな時は競わない。
W8	13 0 92	肥満で身体全部を使う作業は困難。理解は問題ないが、スピードがあがらない。
W9	12 3 112	どんな作業もこなせて大きな問題はない。
W10	12 9 80	理解力があるが超肥満のため、全身動作、巧緻性、運動能力が苦手。数字は得意。
W11	9 2 106	作業理解はほぼ大丈夫だが、作業量は低い。自分の作業量に対する認知が低い。
W12	8 2 77	作業理解は問題ないが応用がきかない。作業量は伸びない。
W13	5 0 77	単純な作業でも理解が悪い。
W14	5 5 116	動きが速いが作業内容が粗雑。自分のやった作業の質の点検ができない。
W16		言語指示だけでは理解困難。作業習得は動作模倣から。受動的に安定している。